

令和7年度事業報告

1 事業の成果

(1) 助産所事業

25年度の出産数は前年の総会の予想通りとなりました。2年ごとに出産数の低下が起こり、25年度は出産数が増えるだろうという予想でした。R6年度は出産数よりも、出産件数は倍に増加したのはよかったですと思います。ははこ庵の利用増加が助産所事業にもいい影響を与えるのではないかと。という予想のもと産後ケアのSNS配信なども積極的に行い、今年度は4月28日時点で10月までにお産の予約と出産を合わせて昨年などよりも増加傾向になっています。今後は転院減少にもさらに力をいれていきたいと考えています。

産後ケア事業

前年度は、10月より千葉市産後ケア事業の利用料金が半額になり、産後ケアの予約が急増しました。予約の増加は予想されていたものの、私の判断が遅くなり、スタッフ増員、備品の補充、マニュアル作り図などが遅れてしまったことをお詫びいたします。助産所2院の運営となり、スタッフ確保に苦慮し、日常業務にも追われてしまう1年でした。そのような中でも、保育士さん4名確保、助産師非常勤2名のスタッフを増員して、ははこ庵運営マニュアルづくり、予約フォームの作成、洗濯の外注、リネン、物品の充足など、スタッフや利用してくださる方が円滑になるよう施設管理にも力を注ぎました。スタッフミーティングも開催し、ははこ庵を全員で運営していくという意思統一ができたのは良かったです。予約システムの導入により、予約を簡素化して利用しやすい環境を整えました。

(2) 出産育児、教育、食、健康に関する情報・サービスの提供事業

SNSによる情報発信は多忙のためなかなか難しい状況でしたがお産の様子や産後ケアの様子などを発信することに努めました。産後ケアの予約システムでのイベント掲示によりイベント参加者が増えています。

(3) 出産育児、教育、食、健康に関する書籍、物品、食品等の販売事業

玄米酵素の販売が昨年より減少してしまいましたが、ははこマルシェで玄米酵素の片栗実験を行うことができ、皆様にご紹介することができました。その時に市内でヘッドスパで開業している事業所の方にも興味を持ってもらえて、助産院のお客層層以外にもアピールすることができました。

(4) 市民が集い交流する場の提供、および飲食物の提供事業

マルシェの開催でははこ庵利用者も来てもらうことができ盛況でした。また、地域のお母さんグループや、自然療法、食に関する仕事をしている方々ともつながることができました。

(5) イベント・講座の開催および講師の派遣事業

年明けに開催している新春コンサートでしたが、サークルの方と予定が合わず、5月開催となりましたが、参加者が少ないため開催中止になりました。今年度は開催時期などをサークルの方々と調整していきたいと思っています。

(6) その他

保育園での施術はつきに1回継続して行っています。保育士さんに向けて手当て整体の出張を行っています。おおむね好評でR8年度も継続が決まりました。

きぼーる、子育て支援館で骨盤調整講座を4回／年開催していますが毎回キャンセル待ちが出るくらい好評で産後ケアを利用してくださった方も参加してくださっていました。

看護学生、助産学生実習の受け入れも行いました。

城西国際大学 8名 和洋女子大学看護学部 15名 SBC 東京医療大学 40名

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
助産所事業	妊婦健診、分娩、各種保健指導	通年	若草助産院	12人	妊産婦および乳幼児、女性
産前・産後支援事業	千葉県、および周辺地域の産後ケア事業	通年	千葉市内	15人	産婦延べ458人
出産育児、教育、食、健康に関する情報・サービスの提供事業	ホームページ、SNS等による情報の提供	通年	事務所他	2人	-
出産育児、教育、食、健康に関する書籍、物品、食品等の販売事業	健康、および生活の向上に寄与する物品等の普及を図る	通年	若草助産院他	3人	-
市民が集い交流する場の提供、および飲食物の提供事業	マルシェ開催	9月	ははこ庵	5人	一般延 50人
	コンサート開催		ははこ庵	1人	
	イベント会場の提供	回	ははこ庵	5人	-
イベント・講座の開催および講師の派遣事業	イベント・講座の開催	3回	ははこ庵他	3人	一般延べ29人
	料理教室の開催	9回	ははこ庵、市内公民館	3人	一般延べ46人
	講師の派遣	4回	子育て支援館他	2人	一般のべ56人